岡山商科大学 学会学術講演会

講師：荻野博司 氏
（おぎの　ひろし）
元「朝日新聞」論説副主幹、東洋学園大学教授



分断の時代
―日本が直面する厳しい現実―

―― 米国でのトランプ大統領の誕生や英国のEU離脱、ドイツなどで見られる極右政党の躍進。社会を分断する動きが世界規模で広がっている。日本でも国民の間での格差がじわじわと広がり、社会の分断が進む兆候が見られる。その背景を分析し、乗り切る手立てを考えていきたい。

荻野　博司（おぎの　ひろし）氏
東京都出身。1975年朝日新聞入社。東京本社経済部、ニューヨーク支局員、論説副主幹などを歴任し、2014 年より東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授。苫小牧埠頭株式会社社外監査役。ほかに「日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク」企画担当理事、日本経営倫理学会理事。著書に「日米摩擦最前線」「問われる経営者」など。主な研究テーマは、コーポレートガバナンス、ジャーナリズム、国際経済。

日時：2017 年 12 月 8 日（金）
14 時 40 分～ 16 時 10 分
場所：アクティブラーニングルーム
（岡山商科大学図書館棟 7 階）

参加無料
要事前申込

お問い合わせ：〒700−8601 岡山市北区津島京町2丁目10−1
岡山商科大学産学官連携センター　TEL.086−252−0642 FAX.086−255−6947
E−Mail:sangakukan@po.osu.ac.jp